



ロータリー2024～2025年度
第2840地区 2024～2025年ロータリーのテーマ

会員一人一人が主役、つながりを広げ、 さあ行動しよう

館林ロータリークラブ会報

R.I 加盟承認 1958年6月2日
Club ID 13956

2025年3月1日(土) 第3229回例会報告 (No, 32)
第2840地区第4分区B INTERCITY MEETING

— 開会の言葉 —



阿部 豊子 第4分区Bガバナー補佐

— 一点鐘 —



宮内 敦夫 RI第2840地区パストガバナー

— 国歌 並びに『奉仕の理想』斉唱 —



ソングリーダー 館林東RC 鏑田 貞雄 会員

— 講師並びにご来賓 紹介 —

阿部 豊子 第4分区Bガバナー補佐

【講師】

RI第2840地区パストガバナー、
地区DEI推進委員会アドバイザー

竹内 正幸 様

RI第2840地区

地区ラーニング・管理運営委員会委員

飯田 知義 様

【ご来賓】

RI第2840地区 パストガバナー 宮内 敦夫 様



RI第2840地区 地区副幹事 岩崎 靖司 様



RI第2840地区 地区副幹事 河内 良範 様

— 来賓挨拶 —



RI 第 2840 地区パストガバナー、
地区 DEI 推進委員会アドバイザー

竹内 正幸 様

皆さんこんにちは。第 4 分区 B に来ますと、知れた顔の方々が多く、ものすごく気が楽でございます。楽しくやれば良いかなと思っております。インターシティミーティングの意味について、ガバナー補佐の方からありましたけれども、まさに、この B の 5 クラブがいろんな問題があるといったことで、5 クラブが助け合って、解決していこうというような試みです。それからもう 1 つは親睦でございます。今日 57 名の参加をいただきました。限られた時間でございますが、皆様方の友情をはぐくんで頂ければありがたいと思います。長時間に渡りますけれども、どうぞ宜しくお願い致します。

— 地区委員会委員並びに各 RC 会長 紹介 —

阿部 豊子 第 4 分区 B ガバナー補佐



地区補助金委員会委員 山本 樹 様



地区青少年交換委員会委員 原 精一 様



館林 RC 会長 関井 宏一 様



大泉 RC 会長 阿部 欣也 様



館林西 RC 会長 加瀬 揚彦 様



館林ミレニアムRC 会長 尾花 正貴 様

テーマ『ファシリテーターについて』



講師 飯田 知義 様
(地区ラーニング・管理運営委員会)



館林東RC 会長 持田 晃 様

— 講 話 —

テーマ『DEI』について

講師 竹内 正幸 様

(DEI 推進委員会アドバイザー)

「DEIについて」講話資料
講師：竹内正幸 様

多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメント

our commitment to diversity, equity, and inclusion Rotary

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を築くことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正しくかつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

ファシリテーターの言葉の意味

ファシリテーターという言葉の意味から確認しましょう。ファシリテーターは「ファシリテーションをする人」という意味です。ファシリテーションというのは「物事をスムーズに進めるための進行役」のことです。会議や研修に参加している人の発言を促し、中立の立場から意見を出す役割を持ちます。

司会やネゴシエーターとの違い

ファシリテーターに近い役割として司会やネゴシエーターがあります。ファシリテーターと司会の違いは、あくまで会の進行がメインで、参加者の発言を促す役割はありません。司会は決められたタイムスケジュールにあわせて、会議や研修を進行させ、話し合いでは傍観者に近い立場になります。

ネゴシエーターはネゴシエーションという、相手との話し合いを合意に持っていく手法を担当する立場です。相手と意見の不一致が生じたり、利害関係にある参加者と交渉して合意を目指します。

ファシリテーターとそれぞれを比較すると、司会は会の進行役でネゴシエーターは交渉役という違いがあるのです。ファシリテーターと同じく話し合いや会議の場で重要な役割があるといえるでしょう。

役割①会議をコントロールする

では、ファシリテーターの具体的な役割を確認していきましょう。会議の流れを確認しながら、話し合いをコントロールする役割があります。特に司会者やネゴシエーターがない場合、それぞれが自由に発言をして、本筋から逸れてしまうことがあるのです。

ファシリテーターはそういった場合に、参加者に会議の意味や目的、ルールを再確認させ、しっかりとゴールに向かって進めていくようにしてください。

役割②場の雰囲気を活発化させる

会議が始まってなかなか意見が出ない場合、ファシリテーターは場の雰囲気を活発化させるために、積極的に発言をしていきましょう。ファシリテーターには目的を達成させるために働きかける、という意味があるので積極性が重要になります。

自分から話し出すのが苦手な人がいた場合は、ファシリテーターがうまく意見を言うように促してあげてください。発言者の意見に相槌を打ったり、傾聴したりすることも大切です。

役割③アイデアや意見を整理する

話し合いが進んだら一度状況を整理してあげましょう。ファシリテーターは参加者の意識のずれを修正する役割もあり、アイデアや意見を整理することも求められます。そのため「ここで一度出た意見を整理します」という風に、参加者の認識を再確認し、ゴールに向かって意思統一をしていきましょう。

役割④ゴールを明確にする

ファシリテーターはアイデアや意見を整理したらゴールを明確にしてあげてください。会議の目的によって一つの意見に絞る必要がある場合は、そのことを参加者に伝えましょう。また、より多くのアイデアを出すことが目的の場合は、さらに参加者の発言を促してあげてください。

ファシリテーターの意味や役割について紹介しました。ファシリテーターは中立的な立場から、会議や研修が円滑に行われるのをサポートする役割です。参加者が発言しやすい雰囲気を作り、目的を明確にすることが大切になります。充実した会議を行うために、ぜひファシリテーターを導入しましょう！

第1章 ファシリテーションの基礎

第1節 ファシリテーションは何を目指すのか？ RLIとの関係

1. 「三人寄れば文殊の知恵」を実現する4人目／ファシリテーションとは何か？

RLIの経験がある方は、その時の光景を思い出してみてください。ない方は、日常にある「話しあい」の光景で結構です。そこには「次々と話がつながり、もっと話したくなり、話す前には思っていたことまで話していた」瞬間もあれば、「何を話していいかわからないし、質問するのも気後れしてできないから黙っている」瞬間もあるでしょう。「三人寄れば文殊の知恵」と言われますが、実際はこのように、人が集うだけでは必ずしも上手くいかず、私たちの日常を振り返れば、むしろ上手くいかない場合の方が多いと言えるかもしれません。

ファシリテーションとは、端的に言って、「三人寄れば文殊の知恵を実現する4人目の役割」です。個性的で能力の高い人が集ってもそれだけでは良い知恵は生まれません。知恵が生まれるにはそれに相応しい環境が必要です。その環境を整えて、集った人が持っている力を存分に発揮できるようにするのが「4人目」の役割、すなわちファシリテーターの役割です。ファシリテーターはもともと英語 (facilitator) で、和訳すると「(協働を)促進する人、円滑にする人」という意味になります。ファシリテーターが十分に機能すれば、3人それぞれが能力が発揮された協働が実現するというわけです。

2. 「生き字引」も「万能の天才」もいない時代／ファシリテーションはなぜ必要か？

では、ファシリテーションは、なぜ必要なのでしょう。もし十分に有能な人がいれば、その人の判断を頼りにしてみんなが動けば良いのではないのでしょうか。そうすれば、上手くいかないことも多い話しあいなどという不安定で複雑なプロセスを省略できるのですから。

その答えを探るために、私たちが話しあう理由から考えてみましょう。私たちが話しあうのは、「問題に対して答えが欲しい時」です。言い換えると、ひとりでは手に追えない問題を抱えていたり、どうしても実現したい理想があってもどうすればいいかわからない時、などで。このような時、私たちは互いの知恵を出しあい、ひとりでは考え付かなかったような解決策が生まれることを期待して話しあいます。自分ではない誰かが自分が知らない何かを知っているかもしれないし、もっと優れた考え方ができるかもしれない、と思う

からです。ですから「村の生き字引」のような、または「万能の天才」のような人がいてくれれば、その人こそが答えを出してくれるから、話し合わなくても良い、ということになります。

ところが実際には、何でも知っている生き字引も、万能の天才も、空想の産物で実在することはありません。特に現代のように、世界が絶えず変化し、不確実で、複雑で、曖昧な時代(英語の頭文字をとって「VUCAな時代」と呼ばれます)においては、問題に対する答えを前例や有能な個人に頼ることが困難です。これまで通用していたはずのことが、気づいたらもはや通用しなくなっていた、ということはある分野で起きるし、今後ますますそんな事態が増えてくるでしょう。

そのような時代においては、過去の偉業に倣うのではなく、卓越した個人に頼るのではなく、多様で多彩なひとりひとりの個性に基づく知恵を集め、重ね、まぜあわせて、「これからの答え」をともに創っていくことが必要になります。まさに「協働」が必要な時代であり、「三人寄れば文殊の知恵」の実現が必要な時代なのです。これが、ファシリテーションが現代において求められる理由です。

3. 学校教育から地球温暖化まで／ファシリテーションはどこで活用されるか？

ファシリテーションが求められる場面は、今や多岐に及びます。学校教育の現場では定まった答えを「教える」から、未明の課題に向きあって「探究する」に大きく舵が切られ、主体的・対話的で深い学びへの模索が始まっています。

企業経営においても、不確実な市場環境の中で前例は通用せず、現場の多様な経験や知恵を集めて新たな道を切り開くことが求められます。リーダーシップの形が「導く」から「引き出す」に変わりつつあります。

暮らしの現場においては、生活スタイルの多様化、少子高齢化などを要因として、地域コミュニティのあり方が大きく変容しています。派々と受け継がれてきた地域社会の伝統は、そのままでは存続できず、これからの地域のあり方を住民自らが生み出していく必要があります。

よりグローバルに考えても同じ構造が見出せます。地球温暖化、資源枯渇、食糧不足、紛争など、既存の特定分野の解決策を当てはめれば済むといった問題はなく、多様な専門性を持った人たちが互いの違いを超えて話しあわなければ解決しない問題ばかりです。いずれの現場においても、答えのわからない未知の問題を前にして、ファシリテーションの必要性が高まり続けていると言えるでしょう。

4. 答えを共に生み出す場を創る／RLIとファシリテーションの関係

RLIとファシリテーションはどのような関係にあるのでしょうか。第2章以降で詳述されますが、RLIはテキストをもとに答えを解説する／される場「ではなく」、様々なテーマ

ファシリテーションをする人

ファシリテーターは「ファシリテーションをする人」という意味です。ファシリテーションというのは「物事をスムーズに進めるための進行役」のことです。会議や研修に参加している人の発言を促し、中立の立場から意見を出す役割を持ちます。ファシリテーターに近い役割として司会やモデレーターがあります。ファシリテーターと司会の違いは、あくまで会の進行がメインで、参加者の発...

- ファシリテーターの意味や役割は？司会との違いや進め方...
■ www.space.jp/media/facilitator/

他の人はこちらも質問

ファシリテーターってどんなの？	ファシリテーター(facilitator)って何？	ファシリテーターとは？役割と、
ファシリテーターが参加者の話を真剣に聞いてくれる、参加者同士互いに話を聞き合おうようになります。経験豊かなファシリテーターは参加者からの発言を刺激し、それぞれの意見について深く理解できます。...	ファシリテーター (facilitator)とは、会議や研修、ワークショップなどの場において、参加者全員が主体的に議論や作業に取り組め、より良い成果を生み出すための支援者的な存在です。...	■ kcc.co.jp

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

●ファシリテーターとは？司会との違いや役割、必要なスキルを...

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>


- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>



ファシリテーターとは、グループや組織がより良い方向に進むのをサポートし、目標達成のために必要なスキルや知識を提供する人です。ファシリテーターは、会議や研修、ワークショップなどの場において、参加者全員が主体的に議論や作業に取り組め、より良い成果を生み出すための支援者的な存在です。

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

ファシリテーターとは、会議や研修、プロジェクトなどを進める上で、参加者の発言を促し、議論を進める役割を担います。ファシリテーターは、会議や研修において、参加者全員が主体的に議論や作業に取り組め、より良い成果を生み出すための支援者的な存在です。

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

ファシリテーターとは、会議や研修、プロジェクトなどを進める上で、参加者の発言を促し、議論を進める役割を担います。ファシリテーターは、会議や研修において、参加者全員が主体的に議論や作業に取り組め、より良い成果を生み出すための支援者的な存在です。

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

● <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

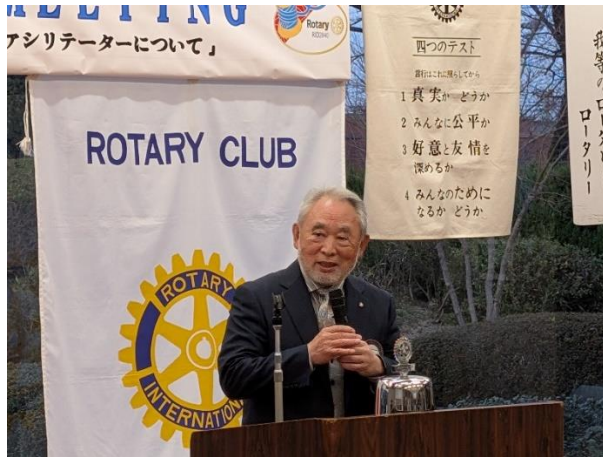
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>
- <https://www.kanavi.jp/dictionary-facilitator/>

第1章

ー デ イ ス カ ッ シ ョ ン ー



ー 講 評 ー



RI 第 2840 地区パストガバナー 宮内 敦夫 様

講師のお二方の先生、ありがとうございました。大変身になるお話を聞かせて頂いたと思います。特に、今の時代を考えると、日本にとって、あるいは日本人にとって DEI というのは、これから何十年もしないうちに、外国人がもっともっと入ってくると思います。その時に、民族問題とか、風習の違いとか色々な点で、対立が起こると思います。それを乗り越えるためには、我々はこの考えをしっかり持っておくことが必要であろうと思います。それと、私が、学校の教員をしているときに、外国の教室を訪問して、参加させていただいたことが何度もあるのですが、向こうの人は、アメリカでも、イギリスでも、60分の授業だと、30分は先生がその時間を使って、あとの30分はお互いに対話をする。そんなやり方なのですね。ところが日本だと、先生の話をも黙って聞きなさいということで、とにかく居眠りしようと、下を向いてじっと聞いている。これはマナーですね。そういう中で過ごしてきた我々は、人前で、自分の意見をはっきり言うとか、あるいは、会議のファシリテートをするとか、司会をするとか、そういうのは非常に不得意なのです。ですから、これも我々にとって非常に大切な事だと思います。そういう中で、今日のお話を伺って、ロー



タリーの今進んでいる方向であるということでございます。我々、他人ごとではなく、自ら学んで、世の中のためになるように、ロータリーの精神を活かしてゆきたいと思えます。本日は両先生お忙しいところお出でいただいて、講義くださりまして、ありがとうございました。

— 『四つのテスト』 斉唱 —

ソングリーダー 館林東RC 鎌田 貞雄 会員

— 閉会の言葉並びに点鐘 —

阿部 豊子 第4分区B ガバナー補佐

— 乾 杯 —



RI 第2840 地区パストガバナー 宮内 敦夫 様



S・A・A 館林東RC 前山 秀樹 会員

— 懇 親 会 (祝 宴) —



第2部 懇親会

— ホストクラブ会長挨拶 —



館林東RC 持田 晃 会長



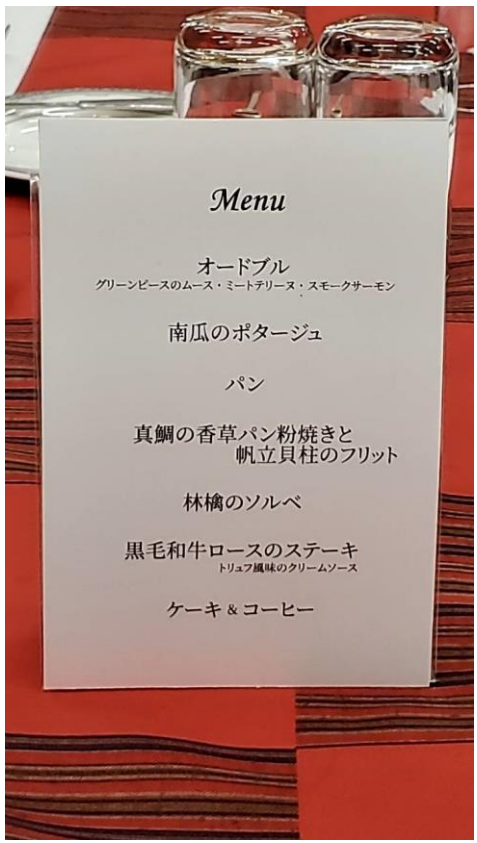


次年度ガバナー補佐輩出クラブ
館林ミレニアムRC 尾花 正貴 会長
— 手 に 手 つ な い で —





司会進行 館林東RC 鍵田 貞雄 次年度幹事



— 会 務 報 告 —

今後の予定

- R 7. 3. 2 (日) 令和6年度日本語発表会
於・西公民館
- R 7. 3. 2 (日) 新旧青少年交換委員会
対象者 荒木千津子 於・ガバナー事務所
- R 7. 3. 8 (土)～9 (日) 会長エレクト・
次年度幹事研修セミナー 於・磯部ガーデン
対象者 本島 克幸・藤島 厚・宮内 敦夫
- R 7. 3. 11 (火) 館林つつじサポーターズ楽
部通常総会 於・館林市文化会館
対象者 関井 宏一
- R 7. 3. 20 (木) 新会員セミナー
於・前橋問屋センター会館
対象者 齊藤 一則
- R 7. 3. 24 (月) 館林市健康づくり推進懇話
会 於・館林市保健センター
対象者 藤島 厚
- R 7. 3. 25 (火) 館林市緑化推進委員会
対象者 関口 昇 於・館林市役所
- R 7. 3. 27 (木)～30 (日) インターアク
ト海外研修 於・台湾
- R 7. 3. 29 (土) 伊勢崎中央RC創立50周
年記念式典 於・境総合文化センター／ニューいづみ
対象者 関井 宏一・小堀 良武
- R 7. 4. 6 (日) 安中RC創立60周年記念
式典 於・ホテル磯部ガーデン
対象者 本島 克幸・小堀 良武
- R 7. 4. 12 (土) 前橋南RC創立40周年記
念式典 於・前橋商工会議所会館
対象者 関井 宏一・小堀 良武
- R 7. 4. 19 (土) 館林ミレニアムRC創立2
5周年記念例会 於・文右衛門ホール
- R 7. 4. 24 (木) 第4分区A・B10クラブ
親睦チャリティゴルフ大会
於・太田双葉カントリークラブ
対象者 関井 宏一・飯塚 一成・石川 長司
小池 和敏・鈴木 誠・田部井孝一
中世 吉昭・藤島 厚・本間美儀男
本島 克幸・安間 崇人・谷田川敏幸
山本 樹
- R 7. 5. 31 (土) 第9回日台ロータリー親善
会議札幌大会 於・グランドメルキュール札幌大通公園
- R 7. 6. 21 (土)～25日(水) 国際大会
於・カルガリー(カナダ)
- R 7. 6. 22 (日) RI理事主催親善朝食会
於・ハイアットリージェンシーホテル

— 幹 事 報 告 —

例会場・例会時間の変更

- ◆太田中央RC
3月21日(金) → 夜間例会
点 鐘 19:00
会 場 和食・懐石料理 成花
- 3月28日(金) → 3月29日(土)
第4分区A IM
時 間 7:00
会 場 太田駅周辺清掃活動

- ◆碓氷安中RC
3月6日(木) → 休 会
3月20日(木) → 休 会
4月3日(木) → 休 会
4月10日(木) → 4月6日(日)
安中RC創立60周年記念例会
4月17日(木) → 休 会
会報、週報

- ◆大泉RC → 2月会報
◆館林ミレニアムRC → 1月・2月会報
その他

- ◆ガバナー事務所
①2025-26年度地区役員・委員就任依頼のご送付
ガバナー諮問委員会として 宮内 敦夫 会員
地区補助金委員会委員として 山本 樹 会員
公共イメージ・ICT推進委員会委員として 長柄 光則 会員
青少年交換委員会委員として 荒木千津子 会員
米山記念奨学委員会委員として 齊藤 一則 会員
②「2025-26年度地区会員必携」作成についてのお願
い
③竹中年度会長・幹事様のお写真送付等のお願
い

- ◆(株)オクトン
最新カタログ 2部
◆(株)フジマキネクタイ
最新カタログ 1部

— 例 会 出 席 報 告 —

通算3229回例会

会 員 数	54名
出席率算出会員数	51名
出 席 者 数	22名
欠 席 者 数	29名
出 席 率	43.14%
前前回修正	73.08%～78.85%

- ◆例会日 毎週金曜日 12:10より
- ◆例会場 ニューミヤコホテル館林(館林市文化会館内)
館林市城町3-1 TEL0276-50-1541
- ◆事務所 館林信用金庫本店内
館林市本町1-6-32 TEL・FAX 72-8181
- ◆E:mail tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

- 第2840地区ガバナー 森 末廣
会 長 関井 宏一 副会長 本島 克幸
幹 事 小堀 良武 副幹事 藤島 厚
会報 委員 齊藤 一則 森田 信一郎
発行責任者 関井 宏一 編集責任者 齊藤 一則